

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	摺動面オイル
注文コード	84515806
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M240930

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
GHSラベル要素	危険有害性情報 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	環境への放出を避けること。(P273)
安全対策	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)
廃棄	

3. 組成及び成分情報  
化学物質・混合物の区別

化学物質・混合物の区別		混合物			
		化学式	官報公示整理番号		CAS番号
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲		化審法	安衛法	
ソルベント脱ろう重質パラフィン系石油留分	90.0～99.0%	不明	不明	不明	64742-65-0
tert-アルキル(C=12～14)アミン	<1.0%	不明	不明	不明	68955-53-3
オレイルアミン	<1.0%	不明	(2)-133,(2)-176,(2)-185	既存	112-90-3
オクチルアミン	<1.0%	CH3(CH2)6CH2NH2	(2)-133,(2)-176	既存	111-86-4

4. 応急措置  
吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

		飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。
使ってはならない消火剤		棒状水。
火災時の特有の危険有害性		燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法		消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項		漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
二次災害の防止策		付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 換気の良い場所で保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置		

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ソルベント脱ろう重質パラフィン系石油留分	未設定	未設定	未設定
tert-アルキル(C=12~14)アミン	未設定	未設定	未設定
オレイルアミン	未設定	未設定	未設定
オクチルアミン	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
ソルベント脱ろう重質パラフィン系石油留分	未設定	未設定
tert-アルキル(C=12~14)アミン	未設定	未設定
オレイルアミン	未設定	未設定
オクチルアミン	未設定	未設定

#### 設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。

##### 手の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。

##### 眼、顔面の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

##### 皮膚及び身体の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

#### 9. 物理的及び化学的性質

##### 物理状態

液体

##### 形状

液体

##### 色

琥珀色(透明)

##### 臭い

特徴的

##### 融点／凝固点

データなし

##### 沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

##### 可燃性

データなし

##### 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

データなし

##### 下限

データなし

##### 引火点

239℃(クリーブランド開放式)

##### 自然発火点

データなし

##### 分解温度

データなし

##### pH

データなし

##### 動粘性率

69.6(mm<sup>2</sup>/s)@40℃

##### 溶解度

水に溶けない

n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		0.8772(g/cm3)@30° C
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		酸化剤と反応することがある。
化学的安定性		推奨される保管条件下では安定である。
危険有害反応可能性		通常の保管および使用条件下では、危険な反応は起こらない。
避けるべき条件		酸。
混触危険物質		酸化剤。
危険有害な分解生成物		不完全燃焼により、煙、有毒ヒューム、二酸化炭素、一酸化炭素や硫黄酸化物を含む有害ガスが発生する。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が2075.9783289mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5080.3026506mg/kgのため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		10×(区分1+1A+1B+1C)+区分2の成分合計が9.14%のため、区分3とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分3から区分に該当しないに変更。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

発がん性  
生殖毒性

データ不足のため分類できない。  
(生殖毒性)  
データ不足のため分類できない。  
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。  
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

動粘性率が69.6mm<sup>2</sup>/s(40℃)のため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が91.4%のため、区分3とした。

水生環境有害性 長期(慢性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が91.4%のため、区分3とした。

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報  
Marine Pollutant  
Liquid Substance  
Transported in Bulk  
According to MARPOL  
73/78, Annex II, the  
IBC Code

非該当  
Not applicable  
Not applicable

国内規制

航空規制情報  
陸上規制  
海上規制情報  
海洋汚染物質  
MARPOL 73/78 附属  
書II 及びIBC コードによ  
るばら積み輸送される  
液体物質

非該当  
消防法の規定に従う。  
非該当  
非該当  
非該当

